

平成29年度地域づくり人材養成講座・みのかも市民サポートセンター講座
 「誰もが主役・地域を話そう「かも楽塾」 第2回ワークショップ開催概要

日 時	平成29年5月30日(火) 13:30~15:30	
場 所	美濃加茂市生涯学習センター 203号室	
コーディネーター	コミュニティ診断士 平 孝明 氏	
運営サポート	コミュニティ診断士 坂本 由貴 氏 コミュニティ診断士 今尾 ひな子 氏 コミュニティ診断士 春日井 伸一郎 氏	
受講者	22名	
主催者	岐阜県環境生活部県民生活課 美濃加茂市市民協働部地域振興課・みのかも市民活動サポートセンター	
内 容	<p>◆開会</p> <p>1 指導者・助言者紹介</p> <p>◆活動発表</p> <p>発表者：岐阜県コミュニティ診断士 坂本 由貴 氏 「海津市吉里地区での地域活動について」</p> <div data-bbox="1141 667 1390 851" data-label="Image"> </div> <p>▲発表者の坂本さん</p> <div data-bbox="327 891 1449 1350" data-label="Text"> <p><吉里地区について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場整備の行き届いた広大な田園風景に集落が点在 ・人口1,786人 年少人口率11.5% 高齢化率28.7%の超高齢地域 <p><発表概要について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧幼稚園の園舎を利用し、平成22年4月に「サロン吉里」を開所 ・運営する「吉里地区社会福祉協議会」は、横断的な活動が可能 ・サロンは交流の場であり、地域住民の活躍の場である 活動例) 100円コーヒー、特技を活かした地域先生、小学校との交流 など ・普段やってもらう側・支えられる側であっても意識改革をすることで、誰もが人材・誰もが担い手になる ・行政だからできること、地域住民だからできること、それぞれ違うため、みんなで補い合うことが必要 </div> <p>◆ワークショップ</p> <p>「自分達にできる地域コミュニティとは」をテーマに、KJ法を用いて課題の抽出をし、その後課題・解決策の絞り込みと解決策の評価を行いました。</p> <div data-bbox="363 1529 1430 1659" data-label="Text"> <p>KJ法とは・・・ 情報をカード化し、同じ系統のものでグループ化することで情報の整理と分析を行う方法のことです。</p> </div> <p>○Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●課題：地域とのつながりが薄い など <div data-bbox="347 1778 592 1960" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに参加する人が少ない →伝統行事伝承機会の創出、魅力的なイベントの企画、近所での声掛け、PRする ・効果的なPR法は・・・ →広報誌、チラシの全戸配布、のぼり作成 団体同士がつながる など ・「自分達ができること」という視点から考えてみよう →受付・お茶出し、司会、独居高齢者の送迎、チラシづくり、ものづくり指導 など →みんなが集まれば、自分達でイベントができる! <div data-bbox="1198 1933 1442 2114" data-label="Image"> </div>	

○Bグループ

◎よいところ：人情が厚い、子育て支援がある、
元気な高齢者がたくさんいる など

●課題：担い手の固定化、車がないと不便、地域活動やイベント
が広がっていない（情報が少ない）など
→地域性があり、地域ごとに課題が違う



・車がないと不便

→現在のコミュニティバスの利用促進・活用、住民同士での助け
合い、商工会やスーパーなどにバスを運行してもらうよう働き
かけ など

※解決策を「人材」「資金」「広報」「利用者」の4点で評価しました

○Cグループ



●課題：行事の参加者の固定化、外国の方の自治会加入率が低い、
会話・つながりが不足している、ボランティア・地域活動
について知らない人が多い など

・高齢者同士の付き合いが大切

→根気よく行事参加を促す、
楽しい・魅力的な行事を実施する、
行事をPRする



※解決策を「すぐできるか」「お金がかからないか」の2点で評価しました

<平さんコメント>

- ・人手が足りない、参加者の固定化は、普遍的な課題である
- ・コミュニティの多様化により、地域に依存しなくても生活
できるようになった
→地域のつながりの衰退化、孤独死が起こるようになった
- ・課題の共有だけでなく、共感を持ち、お互いを高め合ってこそ
地域活動が生まれる
→そうなるには時間がかかるため「できることからやってみる」
というのも1つの手ではないか



▲コーディネーターの平さん